

平成 29 年度飯山市美術館特別展  
『—この人なくして白隠なし— 正受老人と白隠禅師』開催概要

- 1 企画展名 飯山市美術館特別展『—この人なくして白隠なし— 正受老人と白隠禅師』
- 2 開催趣旨  
正受老人（道鏡慧端、1642～1721）は、「臨済宗中興の祖」と称される白隠慧鶴（1685～1768）を厳しい指導により正しい悟りに導いたことで知られる禅僧です。飯山市では、正受老人の崇高な精神と生き方に学ぶため、関係書籍の発行や正受老人が後半生修行に没頭した正受庵（県史跡）の維持管理・修復など、学校教育や社会教育の現場でふるさと学習の礎とすべく取り組んできました。  
そして、これまで当市において、正受庵の所蔵資料がまとまって展示されたことはありませんでしたが、今回、それらとともに関係各所から借用した正受老人と白隠ゆかりの貴重な資料をあわせて展示することになりました。正受庵所蔵以外の資料としては、白隠が長野県内の伊那や木曾地方などのお寺で巡錫したときの遺墨が中心になります。また、現存しているものは2点のみとされる正受老人自筆の資料『慧端遺偈（正受庵所蔵）』と『正受老人（道鏡慧端）頂相（永青文庫所蔵）』、さらに白隠筆による『正受老人像（龍澤寺所蔵）』が同時に展観できる初の試みとして開催します。
- 3 出品作品 添付の出品作品リストのとおり
- 4 主催 飯山市教育委員会
- 5 協力 臨済宗妙心寺派、花園大学歴史博物館、一般財団法人正受庵保存会
- 6 後援 信濃毎日新聞社、北信ローカル、北信濃新聞社、公益財団法人八十二文化財団、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、iネット飯山、飯山商工会議所、飯山市芸術文化協会、信州いいやま観光局
- 7 会期 平成 29 年 8 月 2 日（水）～9 月 10 日（日） \*開館日数 35 日
- 8 会場 飯山市美術館 1 階展示室
- 9 開館時間 9:00～17:00 ※入館は 16:30 まで
- 10 休館日 毎週月曜日
- 11 入館料 大人 600（300）円、小中学生 400（200）円 ※（ ）内は団体料金
- 12 関連行事
  - ・企画展初日（8/2）に開会式を開催します。
  - ・会期前及び会期後に講演会を開催します。
  - ※チラシ参照
- 13 連絡先 飯山市教育委員会 文化振興部 文化振興部長（兼）美術館長 栗原良満  
担当：美術館係長 井端伸介  
連絡先：飯山市美術館 〒389-2253 長野県飯山市大字飯山 1436-1  
TEL/FAX 0269-62-1501

特別展「一この人なくして白隠なし—正受老人と白隠禪師」出品作品リスト

No.	作品名称	作者等	員数	品質	法量	時代	所蔵	備考
1	正受老人(道鏡慧端)坐像	寺瀨黙山作	一軀	乾漆造 彩色	像高67.0	昭和46(1971)	正受庵	
2	正受老人(道鏡慧端)像	中野不白賛	一幅	紙本着彩	縦71.2横27.4	江戸時代(18世紀)	正受庵	
3	正受老人(道鏡慧端)頂相	道鏡慧端自画賛	一幅	紙本墨画			永青文庫	
4	正受老人(道鏡慧端)像	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦127.7横54.2	江戸時代 宝暦3(1753)	龍澤寺	
5	正受老人(道鏡慧端)遺墨 遺偈		一幅	紙本墨書	縦24.2横35.2	江戸時代 享保6(1721)	正受庵	
6	至道無難像	東嶺圓慈賛 即之筆	一幅	紙本着彩	縦75.7横40.1	江戸時代 安永10(1781)	正受庵	
7	至道無難墨蹟「平常道」		一幅	紙本墨書	縦126.7横56.0	江戸時代(17世紀)	正受庵	
8	扁額「正受庵」	[原字]至道無難筆	一幀	木製	縦37.5横85.7厚1.0	江戸時代(17世紀)	正受庵	
9	道樹宗覺 遺偈		一幅	紙本墨書	縦24.8横27.5	江戸時代 享保15(1730)	正受庵	
10	正受庵栽松塔銘(拓本)		一幅		縦162.2横38.5	江戸時代 天明元(1781)	ふるさと館	
11	東嶺圓慈墨蹟 正受老人(道鏡慧端)六十年忌法語		一幅	紙本墨書	縦37.0横55.2	江戸時代 天明元(1781)	正受庵	
12	達磨図	東嶺圓慈自画賛	一幅	紙本墨画	縦75.4横24.5	江戸時代(18世紀)	正受庵	
13	初夢図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦56.1横101.5	江戸時代(18世紀)	正受庵	
14	蓮池観音図	白隠慧鶴筆	一幅	紙本墨画	縦126.8横36.1	江戸時代(18世紀)	正受庵	
15	白隠慧鶴墨蹟 古劍銘		六幅	紙本墨書	(各)縦125.0横53.1	江戸時代(18世紀)	正受庵	
16	白隠慧鶴墨蹟 古劍銘		三幅	紙本墨書	(各)縦117.0横52.8	江戸時代(18世紀)	金地院	
17	白隠慧鶴墨蹟 仏相三教開筵		一幅	紙本墨書	紙本墨画	江戸時代 宝暦7(1757)	西岸寺	
18	白隠慧鶴墨蹟「閑蟻争拽艇翼 新燕来休楊柳枝」		二幅	紙本墨書	(各)縦124.2横27.9	江戸時代 宝暦7(1757)	西岸寺	
19	白隠慧鶴墨蹟「大極嶺」	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨書	縦55.7横133.9	江戸時代(18世紀)	西岸寺	
20	鐘道図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦135.6横56.6	江戸時代(18世紀)	西岸寺	
21	白隠慧鶴墨蹟 達磨忌香語		一幅	紙本墨書	縦49.8横65.8	江戸時代 宝暦7(1757)	瑞應寺	
22	隻履達磨・臨濟・雲門像	白隠慧鶴自画賛	三幅	紙本着色	(各)縦132.8横57.4	江戸時代 宝暦7(1757)	瑞應寺	
23	蓮池観音図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦129.8横52.9	江戸時代(18世紀)	安養寺	
24	隻履達磨図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画 淡彩	縦191.0横107.8	江戸時代(18世紀)	龍嶽寺	
25	龍杖図	白隠慧鶴自画賛(付与扇方箋)	一幅	紙本墨画	縦125.5横35.0	江戸時代 宝暦7(1757)	龍翔寺	
26	白隠樹下坐禅図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦33.0横57.1	江戸時代 明和2(1765)	龍翔寺	
27	達磨図(層巒達磨図)	白隠慧鶴自画賛(付与扇方箋)	一幅	紙本墨画	縦93.5横28.5	江戸時代(18世紀)	龍翔寺	
28	出山釈迦図	白隠慧鶴筆	一幅	紙本墨画	縦125.8横52.2	江戸時代 宝暦7(1757)	大雄寺	
29	蓮池観音図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画 淡彩	縦110.1横38.8	江戸時代 宝暦7(1757)	大雄寺	
30	起上小法師図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦119.7横26.9	江戸時代(18世紀)	龍門寺	
31	鉢砲図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦91.5横27.2	江戸時代(18世紀)	龍門寺	
32	白隠慧鶴墨蹟「親」		一幅	紙本墨書	縦39.5横57.2	江戸時代(18世紀)	龍門寺	
33	龍杖図	白隠慧鶴自画賛(付与六輪扇等)	一幅	紙本墨画	縦127.7横36.7	江戸時代 宝暦7(1757)	開善寺	
34	柿本人麿図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦40.0横49.2	江戸時代(18世紀)	開善寺	
35	白隠慧鶴自画賛「動中工夫勝静中百億倍」		一幅	紙本墨書	縦131.5横28.4	江戸時代(18世紀)	開善寺	
36	白隠慧鶴像	白隠慧鶴賛	一幅	絹本着色	縦72.5横34.8	江戸時代 宝暦11(1761)	長久寺	
37	牛過窓櫺図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦46.4横52.8	江戸時代(18世紀)	保壽寺	
38	乞食図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦37.2横54.3	江戸時代(18世紀)	興禪寺	
39	大心・大燈・関山像	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦124.5横34.1	江戸時代(18世紀)	大賢寺	
40	達磨図	白隠慧鶴自画賛	一幅	紙本墨画	縦126.0横64.5	江戸時代(18世紀)	光徳寺	
41	真田信之画像		一幅	紙本着彩			大鋒寺	

# 正受老人

# 白隠禅師

SHOJU ROJIN

と

HAKUIN ZENJI

この人なくして白隠なし

平成29年度飯山市美術館特別展

一心生者萬法

生顛倒之善果

非凡業在天之

靈光活現通天

地人んら真矣

正受惠端



2017.8/2 水 - 9/10 日

会場：飯山市美術館

開館時間：9:00 ~ 17:00

(入館は 16:30 まで)

休館日：毎週月曜日

入館料：大人 600 (500) 円、  
小中学生 400 (300) 円

※( ) 内は 20 名以上の団体料金

公開

正受老人の  
自画像と  
絶筆

主催：飯山市教育委員会

協力：臨濟宗妙心寺派・花園大学歴史博物館・正受庵保存会

後援：信濃毎日新聞社・北信ローカル／リふれ・北信濃新聞社・SBC 信越放送・NBS 長野放送・  
TSB テレビ信州・abn 長野朝日放送・公益財団法人八十二文化財団・飯山商工会議所・  
信州いいやま観光局・飯山市芸術文化協会・株式会社テレビ飯山

右『正受老人(道鏡慧端)頂相』道鏡慧端自画像 江戸時代(18世紀) 文京区・永青文庫

左『隻屢逢磨図』白隠慧鶴自画像 江戸時代(18世紀) 下伊那郡下條村・龍巖寺

撮影：第一スタジオ 堀出恒夫 提供：花園大学国際禅学研究所

この人なくして白隠なし

# 正受老人 と 白隠禅師

SHOJU ROJIN と HAKUIN ZENJI

白隠禅師(1685—1768)は「臨濟宗中興の祖」と称され、禅宗史はもとより日本美術史においても高く評価されています。その白隠を北信濃の正受庵で厳しく指導し、正しい悟りに導いたのが正受老人(道鏡慧端、1642—1721)です。

白隠が明和5年、84歳で亡くなってから250年遠忌にあたる今年、臨濟宗妙心寺派、花園大学歴史博物館の全面的なご支援ご協力のもと、

正受老人が生を受け、修行に明け暮れ没した地、飯山において特別展『正受老人と白隠禅師』を開催いたします。

本展においては、東京・静岡・長野県内の寺院等17か所から正受老人と白隠ゆかりの貴重な遺墨を借用し、飯山市の正受庵所蔵のもの合わせて50点を紹介します。

なかでも、正受老人自筆で現存する遺墨は二点のみとされていますが、今回、初めて一緒に展示されることは特筆に値します。これら二点とは、『正受老人(道鏡慧端)頂相』(永青文庫所蔵)と『正受老人(道鏡慧端)遺墨 遺偈』(正受庵所蔵)で、前者は白画像、そして後者は亡くなる直前に書かれた絶筆です。

また、この白画像と弟子である白隠と中野不白それぞれが描いた『正受老人像』合わせて三点も同案に展示します。

このほか、白隠筆の『古剣銘』は現在、金地院(東京)に三幅、正受庵(飯山)に六幅と二分されていますが、今回、一堂に公開できることや、正受老人の父親である松代初代藩主『貞田信之像』を菩提寺の大録寺より拝借展示できることも大変意義深いと感じています。

AI(人工知能)等の著しい進歩や情報化、国際化の進展など、私たちは目まぐるしい変化の中で生きることを余儀なくされています。それだけに正受老人の生き方が、ここに改めて、私たちの生活に関わけるものがあります。

今回の特別展が、全国の多くの方々に正受庵、そして正受老人を知っていただく機会になればと考えています。また、特別展の開催前と開催中に講演会も決定しておりますので、併せてご案内いたします。



6

## 飯山市文化交流館「なちゅら」にて講演会開催

飯山市公民館事業 飯山雪国大学文化講演会

### 細川護熙講演会

演題：「一日暮らしという生き方」  
時間：13:30～15:00(開場 13:00)

※駐車台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

入場無料

7/22  
(土)

臨濟宗妙心寺派・飯山市教育委員会共催事業  
特別展記念講演

講師：西村恵信(花園大学名誉教授・元学長)

演題：「正受老人と白隠禅師」  
時間：14:00～17:00(開場 13:30)

入場無料

8/19  
(土)



1



2



3



5

1『正受老人(道鏡慧端)像』中野不白 江戸時代(18世紀) 飯山市・正受庵 2『蓮池觀音図』白隠慧鶴自画像 江戸時代宝暦7(1767) 飯田市・大観寺 3『大心・大覚・圓山像』白隠慧鶴自画像 江戸時代(18世紀) 塩尻市・大貫寺 4『白隠慧鶴聖蹟「大極宿」』白隠慧鶴自画像 江戸時代(18世紀) 上伊那郡飯島町・西津寺 5『白隠樹下坐禅図』白隠慧鶴自画像 江戸時代 明和2(1765) 飯田市・瑞雲寺 6『雙龍運路像』白隠慧鶴自画像 江戸時代 宝暦7(1767) 下伊那郡松川町・瑞雲寺

※2・3・4・5・6は、撮影：第一スタジオ 演出：酒夫 提供：花園大学国際禅学研究所



交通：JR飯山駅下車徒歩約10分  
※新幹線↓東京駅から約1時間50分  
長野駅から約12分

飯山市美術館 TEL・FAX0269-62-1501  
長野県飯山市大字飯山1436-1  
URL <http://www.city.iiyama.nagano.jp/>